

平成 29 年度事業計画

公益財団法人 **神奈川芸術文化財団**

I 平成 29 年度財団経営方針

1 財団を取り巻く諸課題

(1) 第 3 期指定管理業務の推進と改修工事への適切な対応

神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂の 3 館の第 3 期（平成 28 年 4 月～平成 33 年 3 月）の指定管理業務を、引き続き万全に遂行していくため、効率的な組織体制の整備と自律的な運営能力の一層の向上を図る必要がある。

また、県民ホールと音楽堂では平成 29 年度から平成 30 年度にかけて県による改修工事が予定されており、工事の円滑な進行のための各所の調整を行う必要がある。また、工事に伴い長期に休館することから、利用者・来館者への適切な情報提供や県域でのアウトリーチ公演の実施など、休館中の諸業務を滞りなく遂行する必要がある。

(2) 政策環境の変化への対応

○ 県の文化政策への対応

県の「かながわ文化芸術振興計画」に基づき、当財団と県との協働のもと、子ども・青少年の文化活動や国際文化交流の充実とともに、「文化芸術事業の発信力の強化（マグカルブランド力向上）」の方策の 1 つとして、芸術劇場の機能を活用した神奈川オリジナル作品の創作や県内外の劇場等との連携などが期待されている。また、事業の企画・実施に当たっては、3 館の特性を最大限生かして文化事業を総合的にバランスよく企画・制作し、県民に提供していくことが求められている。

○ 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（劇場法）の制定

平成 24 年に制定されたいわゆる「劇場法」において、劇場・音楽堂等には、文化芸術の創造・発信や国際文化交流の拠点としての役割のみならず、地域社会の活性化や専門人材の養成等に寄与する文化拠点としての役割を担うことが明確に打ち出されたことから、当財団としても、劇場法の趣旨を踏まえて 3 館を運営していく必要がある。

○ ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックへの対応

2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの両大会の成功に向けた機運を醸成していくため、本県においても文化プログラムの展開が期待されている。そこで、県及び関係機関と連携し、訪日外国人を含めた新しい観客を創り出す魅力的なコンテンツの提供に努める必要がある。また、障がい者など文化芸術に触れる機会の少ない人々へのアプローチや、文化芸術による県域の地域活性化にも寄与することが求められている。

2 平成 29 年度の重点方針

(1) 第 3 期指定管理事業の着実な実施と自律的な運営能力等の向上

平成 32 年度までの現・指定管理期間において、3 館の文化事業及び施設維持管理を着実に推進するための組織体制を整備する。さらに、指定管理者の選定経緯を踏まえ、県民の期待に責任をもって応えられるよう、コンプライアンスに配慮した透明性の高い経営を行う。併せて、平成 28 年度に整備した運営改善のための恒常的な評価の仕組みを活用し、指定管理者としての自律的な運営能力とサービス水準の一層の向上に取り組むことにより、説明責任を果たしていく。

(2) 文化事業の着実な推進

文化事業においては、一柳慧財団芸術総監督と白井晃芸術劇場芸術監督の芸術方針に基づき、各館の機能・強みを最大限活用して、創造性、企画性、発信性の高い公演を積極的に展開するとともに、両監督による芸術監督プロジェクトを平成 29 年度は音楽堂で開催し、観客に音楽の新しい刺激的な体験を提供する。

改修工事が実施される県民ホールでは、県域の文化振興や次世代の観客創造を目的に、長期休館中に県内他施設でのオペラ公演やアウトリーチ活動に力を入れていく。芸術劇場では劇団四季による名作ミュージカルのロングラン公演を実施するなど、県民の鑑賞ニーズに応えるとともに、スタジオ公演等では白井芸術監督の目指す先進的な舞台作品を積極的に創造し、観客に新しい芸術表現との出会いの場を提供していくほか、全国の公共劇場との連携を引き続き推進していく。音楽堂ではモンテヴェルディ生誕 450 年を記念して代表作を 2 つ取り上げるほか、子ども・青少年への音楽体験の提供を継続していく。

なお、自主事業の実施に当たっては、指定管理料以外の外部資金等の獲得により事業の拡充を図り、「芸術性」と「経済性」のバランスの取れた運営を目指す。

(3) 劇場法の理念を体現する全国モデルとなる運営

○ トップレベルの文化芸術ラインナップの提供等

県民ホール、芸術劇場、音楽堂ともに「劇場法」の趣旨に対応した県域の拠点文化施設として、我が国でもトップレベルの文化芸術ラインナップの提供や既存のジャンルの枠を超えた作品創造を行い、神奈川から国内外に発信する。

また、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックに向けての文化プログラムの認証手続きを進めていくとともに、それに相応しい日本の伝統音楽や同時代性の高い演劇・ダンス等の公演を企画し、さらに国際文化交流の促進や障がい者アートやアクセシビリティ改善の研究を行っていく。

○ 他の劇場・音楽堂等との連携等の推進

他の劇場・音楽堂等及び芸術団体との共同制作や教育機関等との連携を進め、鑑賞機会の充実を図るとともに、高度な専門的知見や人材育成の場を提供していく。また、若手アーティスト、クリエイターの育成事業や地域の文化施設スタッフを対象とするマネジメント講座を発展させるほか、子ども・青少年向けのプログラムや学校等へのアウトリーチ、学生料金等の設定等により、次世代の観客創造に努める。

○ 専門人材の確保・育成

劇場・音楽堂等の運営の決め手は優秀な人材の集積であることから、我が国の文化芸術ジャンルを牽引する高度な専門的知見を持つ制作人材をバランスよく配置するとともに、実務処理能力、自律的な判断力、コミュニケーション能力などに秀でたマネジメント人材の配置との相互作用による、運営体制の一層の強化を図る。

(4) 施設改修工事への対応

平成 29 年度から平成 30 年度にかけて予定されている県民ホールと音楽堂の改修工事に関して、来館者・利用者等と直に接する現場の指定管理者として、県に適時、適切に情報提供をしていくほか、改修工事に伴う休館に備えた事業計画の立案・実施や運営体制等の整備を進めていく。



神奈川県民ホール



KAAT 神奈川芸術劇場



神奈川県立音楽堂

(KAAT 撮影：森日出夫)

※次頁以降の凡例 (公1、収1、収2、および法人) は、公益認定および会計上の分類を示す。

◆公益目的事業

公1 芸術文化事業およびそのための施設運営に関する事業、芸術文化の情報収集提供、調査研究及び人材育成

◆収益事業

収1 駐車場の運営に関する事業

収2 大会、集会、会議等芸術文化以外の施設運営に関する事業

◆法人会計

法人 法人の運営に関すること

II 事業概要

1 3館合同プロジェクト 1

- ・第3期指定管理提案書（平成28年度～32年度）に基づき、神奈川の文化力をシンボライズする3館合同事業として、音楽と演劇の両分野の芸術監督、一柳慧と白井晃が主導・監修する「芸術監督プロジェクト」と「オープンシアター」を実施する。

【3館合同プロジェクト】

芸術監督プロジェクト（芸術文化創造振興事業）[1事業]

開催予定日	会場名	公演名（予定）	内容
平成30年 1月20日(土)	音楽堂	芸術監督プロジェクト Vol.2	一柳、白井両監督監修で、音楽堂の音響と空間を生かした公演を実施。プログラムはコンチェルト3曲（新進気鋭の若手作曲家の作品と一柳慧作曲の作品）で構成。出演は、杉山洋一指揮・神奈川フィルハーモニー管弦楽団他。

オープンシアター2017（芸術文化鑑賞普及事業）[3事業]

開催予定日	会場名	公演名（予定）	内容
5月28日(日)	県民ホール 複数施設	3館合同プロジェクト オープンシアター2017	大ホール：松山バレエ団「くるみ割り人形」神奈川県民ホール版スペシャルハイライト 小ホール：音楽のおくりもの（オルガン・アドヴァイザーの荻野由美子と共演者による） その他：編み師の203gow（アーティスト名）作品展示とワークショップ、バレエ名場面写真展示、障がい者施設による物品販売他
4月30日(日) ～5月28日(日)	芸術劇場 複数施設	3館合同プロジェクト オープンシアター KAAT EXHIBITION 2017 「詩情の森～語りかたられる空間」★	劇場空間に「美術」を取り込み、美術を題材に様々な表現を交差させ、生き生きとしたアート空間を創り出す（中スタジオ）。 その他、アトリウムやブリッジを活用した展示、イベント、関連シンポジウム等を予定。
5月27日(土)	音楽堂	3館合同プロジェクト オープンシアター2017 in 音楽堂 「音楽堂で音・体験♪ 建築・探検！」	ゼロ歳児から入場可の家族で楽器を体験して楽しめるミニミニコンサートや、音楽堂の建築と歴史を知ることのできる建築探検ラリー等を実施。出演は、松田理奈（ヴァイオリン）、松隈洋（建築史家）他

2 神奈川県民ホール

(1) 文化芸術事業 公1

ア 芸術文化創造振興事業

- ・平成 29 年 7 月 3 日～平成 30 年 3 月（大ホールは 5 月まで）に県が予定している改修休館に対応した事業計画を立案。
- ・例年は休館期間中に開催しているガラコンサート、芸術総監督プロデュース公演（室内楽）、県美術展等の事業については、当年度に限って通常開館中の平成 29 年 4 月から 7 月 3 日までの期間に時期を移して開催する。
- ・また、休館期間中は鑑賞機会の少ない県内地域において、将来的な顧客創造に繋がる事業を実施する。特にモーツァルトの名作オペラ「魔笛」を横須賀芸術劇場（横須賀市）と相模女子大学グリーンホール（相模原市）の県内 2 つの公共劇場にて出張開催し、本格的なオペラの鑑賞ニーズに応えるとともに、関連企画を実施することで地域の文化振興を図る。
- ・主催企画展としては、休館期間中に大巻伸嗣のシャボン玉作品を県民ホール屋外広場で実施し、同時期に開催されるヨコハマトリエンナーレ 2017 と連携し、地域の賑わいの創出を図る。

【主催事業一覧】

芸術文化創造振興事業（ホール事業）[4 事業]

開催予定日	会場名	公演名（予定）	内容
6 月 10 日(土)	小ホール	荻野由美子 オルガン・リサイタル	オルガン音楽の魅力を広く紹介する。県民ホール・オルガン・アドヴァイザー荻野由美子本人が登場し、ブラームスの作品を中心に意欲的なプログラムに臨む。事前にプレレクチャーも実施（舞台芸術講座）。
6 月 11 日(日)、 17 日(土)	小ホール	一柳慧プロデュース 「ユリシーズ弦楽四重奏団」	芸術総監督・一柳慧プロデュースによる、世界トップクラスの演奏家を海外から招聘する室内楽コンサート・シリーズ。ニューヨークから若手カルテットを招聘し、2 回のコンサートを行う。現代の世界の最新音楽事情を紹介。

7月2日(日)	大ホール	ファンタスティック・ガラコンサート 2017 in summer	例年年末に実施されている恒例の同コンサートを休館前に実施。例年とは趣向を変えて、音楽に特化した内容に仕立てる。出演者には音楽界のスターや新進気鋭の演奏家を起用する。敷居が高いと思われがちなクラシックの世界を県民がより身近に感じられるよう工夫を凝らす。
平成30年 3月11日(日)、 18日(日)	横須賀芸術劇場、 相模女子大学グリーンホール	県内地域巡回公演 オペラ「魔笛」	休館中に県内の他の公共劇場にてオペラ公演を開催。ふだん鑑賞機会の少ない地域の県民に総合舞台芸術であるオペラ鑑賞の機会を提供。また、関連企画や地域の子どもたちの出演など、舞台芸術へ親しむ機会や参加する喜びを提供することで、観客の裾野を広げ、地域の文化振興に寄与する。

芸術文化創造振興事業（ギャラリー事業）【2事業】

開催予定日	会場名	展覧会名（予定）	内容
6月14日(水) ～7月1日(土)	ギャラリー	第53回神奈川県美術展 1期展 平面立体部門 第53回神奈川県美術展 2期展 工芸・書・写真部門	昭和40年の創設以来、新人作家の育成と美術文化の向上に努めてきた美術公募展。昨年の平成28年度より全国に公募を拡大。
9月～11月の間 で日程を調整中	噴水前広場	大巻伸嗣 Memorial Rebirth（仮）	休館中の本年度は、屋外でしか見ることのできない大巻伸嗣のシャボン玉作品《Memorial Rebirth》を紹介する。同時期に開催されるヨコハマトリエンナーレ2017との連携により賑わいを創出する。

【共催事業一覧】

ホール【5事業】

開催予定日	会場名	公演名（予定）	内容
5月7日(日)、 21日(日)	小ホール	第36回 かながわゴールデンコンサート 2017	主催：かながわゴールデンコンサート

5月30日(火)	小ホール	Ferris Concert Vol.64 フェリス音楽の花束	主催：フェリス女学院大学
6月22日(木)	小ホール	Ferris Concert Vol.65 フェリス音楽の花束	
6月5日(月)	小ホール	オルガン・コンサート&体験 バスツアー	主催：JTB コーポレートセールス
6月9日(金)	大ホール	横浜バレエ・フェスティバル 2017 Aプロ	主催：ソイプランニング
6月10日(土)	大ホール	横浜バレエ・フェスティバル 2017 Bプロ	
6月27日(火)	小ホール	神奈川フィル・モーツァルト・デイズガブリー Vol.2「お話と演奏で紐解く 若き日のモーツァルトの魅力」	主催：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

ギャラリー [2 事業]

開催予定日	展覧会名 (予定)	内容
5月2日(火) ～11日(木)	メキシコ・チアパス榎本移民 120 周年 Akio Hanafuji とチアパスの画家たち展	主催：日本・チアパス芸術交流 委員会
6月1日(木) ～6月10日(土)	平成 29 年度 第 56 回日本現代工芸美術展	主催：現代工芸美術家協会 神 奈川・静岡会

イ 芸術文化鑑賞普及事業

- ・ 県民の芸術文化に対する関心、理解をさらに深めると同時に、芸術文化の感動を県民に普及することも目的に実施する。
- ・ 休館中も県域の公共ホールや文化施設等を利用し、演奏会や舞台芸術講座を行い、県内広域にて文化振興を図る。

芸術文化鑑賞普及事業 [6 事業]

★は3館合同プロジェクト（再掲）

開催予定日	会場名	企画名（予定）	内容
4月21日(金)、 6月30日(金)	小ホール	オルガン・プロムナード コンサート	県民にオルガン音楽を紹介することを目的に、1975年の開館以来継続してきた無料コンサート。 コンサート開催に合わせて、オーディションで選定した若手演奏家に、オルガン・アドバイザーの指導を受けられる機会を提供し、翌年度のコンサートへの出演機会を提供する。
5月3日(水・祝)、 4日(木・祝)	小ホール	舞台芸術講座特別編 GWキッズ・プログラム 「加藤昌則先生とたのしむ音楽たいけんワンダーランド」	音楽に触れ、つくる楽しみを体験できる子ども（小学生）向けワークショップ。神奈川出身の作曲家・ピアニストの加藤昌則が講師。低学年、高学年に分け年齢にあわせた内容で実施。
5月13日(土)	小ホール	第99回舞台芸術講座 「オルガン・リサイタル～ブラームスの旅」 プレレクチャー	同タイトルのオルガン・リサイタルのプレレクチャー。荻野由美子自身が講師を務め、リサイタルの主なプログラムとなるブラームス作品とオルガン音楽の魅力について紐解く。
未定	未定	舞台芸術講座特別編 「チェンバロの魅力」	県民ホール保有楽器であるチェンバロを使用した講座を開催。チェンバロとその音楽の魅力を紹介する。

5月28日(日)	大ホール	オープンシアター2017 松山バレエ団「くるみ割り人形」神奈川県民ホール版スペシャルハイライト★	(「3館合同プロジェクト」一覧から再掲)
5月28日(日)	小ホール	音楽のおくりもの (オープンシアター2017) ★	(「3館合同プロジェクト」一覧から再掲)
9月～3月	県内他館	音楽のおくりもの (県内巡回)	クラシック音楽の普及を目的とした、新進音楽家によるコンサート。県内地域の小規模ホールや施設等で開催予定。
9月～3月	県内他館	舞台芸術講座特別編 子ども向け講座 (県内巡回)	子ども向け(主に小学生)の参加型ワークショップや講座を県内地域の小規模ホール、施設、学校等で開催予定。
平成30年 1月～3月	横須賀芸術 劇場ほか	舞台芸術講座 (県内巡回)	横須賀芸術劇場等で行うオペラ「魔笛」のプレレクチャーとして開催。

ウ 人材育成事業

- ・演奏家育成、劇場運営マネジメント人材育成、劇場インターン（公演制作）の3本柱で、各分野のプロフェッショナルの育成を目指す。
- ・大学連携事業としては、プロフェッショナル演奏家を目指す優秀な学生を対象に、一流の現場、講師によるプログラムを実施する。

人材育成事業 [1 事業]

開催日	企画名（予定）	内容
日程調整中	県民ホール人材育成事業	<p><u>プロフェッショナルアーティスト養成事業</u>:若手ダンサー育成プログラム、若手演奏家推薦プログラム、オルガンやオペラのアンダースタディのオーディション事業を実施し、才能ある若手アーティストに主催公演等への出演機会を提供する。</p> <p><u>劇場運営マネジメントプロフェッショナル人材養成事業</u>:劇場運営経験を有する受講者に、劇場運営、利用手続、予算管理、設備維持、危機管理、障がい者対応等の劇場運営に必要な知識とスキルのレベルアップを施す。</p> <p><u>劇場体験インターン事業</u>:主にオペラなど、公演制作を行うにあたり、稽古や制作実務でインターンを受け入れ、現場で体験し学ぶ機会を提供する。</p>
日程調整中	県民ホール大学連携事業	<p><u>プロフェッショナル演奏家養成</u>:将来演奏家を目指す音楽大学および大学院生を対象に、ホールが所有する楽器（オルガン、チェンバロ等）を用いて、専門の講師によるレッスンを実施。</p>

(2) 施設維持管理運営事業 公1 収1 収2

ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

- ・ 県民が国内外の一流芸術公演や多彩な公演を楽しむための快適な会場環境を創出し、また県民自らが様々な文化活動を展開する場を提供するため、適切な施設の維持管理及び運営を行っていく。
- ・ バリアフリーの向上については、主に県域の劇場職員を対象にした研修や事例研究を継続し、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を見据えた、障がい者及び外国人のための各種館内表示等の改良や機能向上を検討する。
- ・ ホール運営においては引き続きサービスの向上や自主事業と貸館を両立させる適切な利用調整に取り組むとともに、改修後の舞台機構の機能向上についての適切な案内など、工事終了後の円滑な運営のための準備を行う。
- ・ 各種保守点検の確実な実施による未然事故防止や、事故発生及びトラブルに対しては迅速に対応するなど、委託業者の指導を含め高度な業務実施体制を整え、引き続き「安全」「安心」「快適」な環境創出に取り組む。
- ・ 改修工事による休館期間中は、全館停電となることを踏まえ、工事終了後も老朽化の進んでいる空調、給排水、舞台照明、舞台音響、楽器等の設備が損傷することなく、稼動・使用できるよう、工事進捗状況に応じて適切な対処を行う。
- ・ 休館期間を利用して大ホール客席内の壁面補修等にも取り組む。

イ 県民ホールの施設を活用する事業 収2

- ・ 公益目的の利用（コンサートや音楽発表会等）が見込まれない場合は、学術会議あるいは講演会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。特に規模の大きな大会利用などは、大ホールの収容力が大きいというメリットを活かし、積極的に誘致していく。

ウ 駐車場の運営等 収1

3 KAAT 神奈川芸術劇場

(1) 文化芸術事業 公1

ア 芸術文化創造振興事業

- ・平成 28 年 4 月に就任した白井晃芸術監督の芸術方針（古典の再創造、演劇の可能性の拡張、ダンスプログラムの実施、劇場の複合アート化、若い才能の育成等）に沿った事業を、創造型劇場としての高度な機能を生かして実施する。
- ・ホール公演は、主催事業に加えて提携公演や長期貸館（劇団四季）も含めて、「ミュージカル（音楽劇）のシーズン」という打ち出しを意識した演目をラインナップする。
- ・開館年から実施しているキッズ・プログラムについては、劇場のレパートリー作品を増やす創作を継続し、本年度も再演や全国ツアーを積極的に実施する。

【主催事業一覧】

芸術文化創造振興事業 [15 事業]

開催予定日	会場	公演名（予定）	内容
○芸術監督企画・演出作品			
5月5日(金・祝) ～23日(火)	大スタジオ	白井晃演出 「春のめざめ」	白井晃芸術監督が取り組む近代・古典戯曲を現代に蘇らせるシリーズの第4弾。小空間での濃密な作品作りを大スタジオで展開する。 ロームシアター京都との共同制作。
9月中旬 ～10月上旬	ホール	白井晃演出 「オーランドー」	白井晃芸術監督の演出による、イギリスの女性作家、ヴァージニア・ウルフの「オーランドー」を原作とした戯曲を上演する。

4月13日(木)～ 23日(日)	大スタジオ	地点「忘れる日本人」	開館以来、継続して共同制作を行っている劇団「地点」公演。初戯曲でAAF戯曲賞を受賞した松原俊太郎の新作「忘れる日本人」を上演。
8月～9月	大スタジオ	KAAT×Nibroll 「作品2017(仮)」	ダンスカンパニー「ニブロール」を率い、劇作家としても岸田戯曲賞を受賞するなど、多彩な才能でダンス・演劇・美術の各分野から高く評価される矢内原美邦による、新作ダンス公演。
9月	大スタジオ	ありか	元フォーサイス・カンパニーの島地保武とラッパーの環 ROY による公演。鋭く繰り出す身体と言語のセッションが新たなパフォーマンス・アーツの可能性を切り開く。愛知県芸術劇場との連携企画。
9月	大スタジオ	KAAT×DANCE KAAT de CINEMA	白井晃芸術監督がセレクトした芸術性の高いダンス映像(映画、ビデオ)を上映する。上映に合わせて、白井晃がナビゲーターとなり、作品の紹介をゲストとともに挙げる。
10月7日(土)～ 8日(日)	大スタジオ	ジャズプロムナード	横浜市内を舞台に展開される「横浜ジャズプロムナード」に参加。大スタジオを会場に、KAATならではのジャズライブを実施。
10月	大スタジオ	KAAT×高山明 (PortB) 「ワーグナープロジェクト(仮)」	国際的に活躍する演出家・高山明による新作クリエーション。R.ワーグナーの「ニュルンベルグのマイスタージンガー」をモチーフに、横浜という街に着目し、屋外上演と、SNS、WEBなどを結びつけ、今までにない形の演劇作品を創作する。
10月～11月	中スタジオ	「作者を探す六人の登場人物」	継続的にKAATで公演を行っているほか、『夢の劇』(平成28年度上演)で台本を担当するなど白井晃芸術監督との共同作業も重ねている劇作家・演出家の長塚圭史が、古典戯曲の上演シリーズに参画する。イタリアの劇作家ルイージ・ピランデッロの代表作『作者を探す六人の登場人物』を、ダンサーを中心としたキャストで上演する。

11月～12月	大スタジオ	チェルフィッチュ 「『三月の5日間』 リ・クリエーション」	平成9年に横浜で生まれた劇団「チェルフィッチュ」が、平成29年で結成20周年を迎える機会に、主宰・岡田利規の代表作『三月の5日間』（平成16年初演）のリメイク版を上演。
12月14日(木) ～17日(日)	ホール	ミュージカル 「HEADS UP!」	平成27年度に制作し、読売演劇大賞優秀演出賞を受賞したKAATオリジナルミュージカル（リニューアル上演）。
平成30年 1月～2月	ホール	「三文オペラ」	新進演出家の谷賢一を起用し、幅広い観客層が楽しめる作品を創作。若手をホール公演に登用することで、演出家等を育成していくKAATの人材育成のミッションも果たす。
平成30年 3月	大スタジオ	木ノ下歌舞伎 「勸進帳」	昨年豊橋、京都、北九州で上演され、高評価を得た杉原邦生演出公演「勸進帳」。関東圏ではKAATが初の上演となる。
平成30年 3月	大スタジオ	若手舞踊公演 「SUGATA」	日本舞踊家の藤間勘十郎の脚本・演出・振付のもと、将来の歌舞伎界を担う若手俳優が出演する創作上演。過去2回の上演をさらにパワーアップし、古典の楽しみを現代につなぐ。
11月、 平成30年2月	大スタジオ 中スタジオ	KAAT 竹本駒之助公演	KAATならではの切り口で古典芸能の上演の新しい形を試す企画。平成27年度に文化庁芸術祭賞（音楽部門）の大賞を受賞した、竹本駒之助による女流義太夫シリーズ第9、10弾。

国際芸術交流創造事業 [1 事業]

開催予定日	会場	公演名	内容
平成30年 2月	複数施設	国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM)	横浜市内の複数の文化施設と連携し、開館の平成23年から継続して実施している国際交流事業。舞台芸術の実験精神と都市のクリエイティビティとを融合させる試みや、コンテンポラリー・パフォーマンス・アーツに関する情報交換やプレゼンテーションを行い、広義の「出会い＝ミーティング」を作り出す。

企画制作事業 [1 事業]

開催予定日	会場	公演名	内容
7月下旬 ～9月	全国 12 都市	「ピノキオ～あるいは白雪姫の悲劇」全国ツアー	宮本亜門・初代芸術監督演出作品「ピノキオ～あるいは白雪姫の悲劇」の全国ツアー。盛岡、水戸、君津、豊橋、越前市、倉敷、熊本、北九州、など 12 都市を巡回する。

【主な提携事業一覧】

提携公演 [10 事業] (予定)

開催予定日	公演名 (予定)	内容
4 月	TAK in KAAT 神奈川県演劇連盟プロデュース ① 「ノドの楽園」 ② 「螺旋と蜘蛛」	主催：神奈川県演劇連盟
6 月	「ブリッジ」	主催：劇団サンプル
7 月～8 月	「新作公演」	主催：劇団ハイバイ
9 月	「マリアと緑のプリンセス」	主催：テレビ神奈川
10 月～11 月	「アダムス・ファミリー」	主催：パルコ
11 月	「地獄谷温泉 無明ノ宿」	主催：庭劇団ペニノ
12 月	「文豪ストレイドッグス」(仮)	主催：ゴーチ・ブラザーズ
1 月	「新作公演」	主催：劇団ロロ
2 月	「白い病気」	主催：一般財団法人松本市芸術文化振興財団
日程調整中	その他提携事業	主催事業と合わせて劇場のラインナップ全体を充実させ、多様な演目を県民に提供するとともに、劇場のイメージアップにも貢献する上質な作品や、賑わいを創り出す作品を「提携公演」として誘致する。

神奈川芸術劇場受託事業 [1 事業] (予定)

共催：マグカル・フェスティバル実行委員会（神奈川県）

開催予定日	会場	公演名	内容
9月	大スタジオ	KAAT×小野寺修二（カンパニーデラシネラ） 「日越国際共同制作プロジェクト『Without Signal！（信号がない！）仮』」	カンパニーデラシネラを率いる小野寺修二が、2015年から2016年にかけてハノイでワークショップを重ね、2017年2月KAATアトリウムでのワーク・イン・プログレスを経て上演する日越国際共同制作プロジェクト。

イ 芸術文化鑑賞普及事業

- ・舞台芸術専用の高度な設備と技術・制作スタッフを備えた公共劇場として、その特長を活かした教育普及事業、地域等連携事業を実施し、県民の舞台芸術への関心と理解を深める。

芸術文化鑑賞普及事業 [5 事業]

★は3館合同プロジェクト（再掲） ●はKAATキッズ・プログラム2017公演

開催予定日	会場	企画名（予定）	内容
4月30日(日) ～5月28日(日)	中スタジオ	3館合同プロジェクト オープンシアター KAAT EXHIBITION 2017 「詩情の森～語りかたられる空間」★	（「3館合同プロジェクト」一覧から再掲）
5月28日(日)	大スタジオ	3館合同プロジェクト オープンシアター 関連シンポジウム★	
7月15日(土) ～17日(月)	大スタジオ	『ピノキオ～または白雪姫の悲劇』●	ピノキオが苦難を乗り越えて人間の少年へと成長していくまでの物語が、多彩な音楽に乗せて綴られていくファンタジックなミュージカル。宮本亜門演出作品。
7月22日(土) ～8月6日(日)	中スタジオ	『不思議の国のアリス』●	KAATキッズ・プログラムの新作。「不思議の国のアリス」をモチーフに、ダンサー・振付家の森山開次とKAATが創る、子どもと大人のためのダンス作品。

8月16日(水)～ 17日(木)	大スタジオ ほか	THE LAST GREAT HUNT (オーストラリア) 「アルヴィン・スポーツニ クの深海体験」●	昨年度に引き続き、海外から優れた子ども向けの作品を招聘する。
8月16日(水)～ 17日(木)	アトリウム	劇団コープス CORPUS (カ ナダ) 「ひつじ」●	
日程調整中	大スタジオ ほか	教育普及事業 (舞台芸術講座/WS等)	劇場、演劇、舞踊等の舞台芸術を 広く普及するため、舞台芸術講座、 ワークショップ、バックステージ ツアー等を実施する。

地域等連携事業 [1 事業]

開催予定日	会場	企画名 (予定)	内容
日程調整中	調整中	地域等連携事業	県内の地域において、その地域に 相応しい事業を自治体、文化団体、 文化施設等と連携して実施する。

ウ 人材育成事業

- ・「創造型劇場」としての事業展開や新しい劇場技術の変化に対応できる専門家や、次世代のアートマネジメント人材を牽引する若手等の養成を目指す。
- ・2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、障がい者に対する意識改革や環境整備に関するワークショップや研修プログラムを実施する。

人材育成事業 [1 事業]

開催日	企画名 (予定)	内容
日程調整中	芸術劇場人材育成事業	<p><u>若手演出家公募育成</u>: 小・中規模劇場等である程度経験を積んだ演出家等のステップアップを目的として、白井晃芸術監督の創作現場にて実習を行う。</p> <p><u>舞台技術ワークショップ</u>: 最新の機材や考え方、また舞台技術者が知っておくべき、舞台芸術に関する一般的な内容の講義や実習等を行う。</p>

<p>日程調整中</p>	<p>芸術劇場人材育成事業</p>	<p><u>劇場インターンシップ (公演制作 (演劇)、舞台技術) :</u> これからの劇場運営・舞台技術を担っていくスタッフの養成を目指して、現場実習を中心に研修を行う。</p> <p><u>劇場間人材交流</u></p> <p>①「三文オペラ」の共同制作にあわせ、宮城県文化振興財団、札幌市芸術文化財団との人材・知識・技術の相互交流を図る。</p> <p>②「春のめざめ」の共同制作に合わせ、ロームシアター京都から舞台技術者の研修受け入れを実施する。</p> <p>③「日越国際共同制作プロジェクト『Without Signal! (信号がない!) 仮』」の共同制作にあわせ、ベトナムから舞台技術者の研修受け入れを実施する。</p> <p>④「ピノキオ～または白雪姫の悲劇」の共同制作にあわせ、公益財団法人豊橋文化振興財団との人材・知識・技術の相互交流を図る。</p> <p><u>障がいへの意識改革・環境整備 :</u> 2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックの文化プログラムとして展開された、障がい者に対する我々の意識の改革・環境整備に関するワークショップや研修プログラムの日本版を作成。</p>
<p>日程調整中</p>	<p>芸術劇場大学連携事業</p>	<p><u>東京藝術大学大学院映像研究科:</u> 東京藝術大学大学院映像研究科の准教授の高山明 (演出家) と連携するプロジェクト。</p> <p><u>横浜国立大学:</u> 横浜都市文化ラボ (代表: 室井尚教授) と連携するプロジェクト。</p>

(2) 施設維持管理運営事業 公1 収1 収2

ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

- ・芸術劇場では、整備段階から管理運営計画において4ヶ月間程度の貸館公演の誘致を想定しており、また、集客力のある優れた作品を上演することで神奈川の舞台芸術の振興と普及に寄与できるとともに、観光振興など地域の賑わいづくりにも貢献できることから、劇団四季ミュージカル「オペラ座の怪人」のロングラン公演（貸館）を実施する（平成29年3月～8月、ホール）。
- ・県民が国内外の優れた舞台芸術公演を楽しむための快適な会場環境を創出するとともに、劇場の高度な舞台設備や専門人材を活用した創造活動がスムーズに行われるよう、適切な施設の維持管理及び運営を行っていく。
- ・施設維持管理（ハード面）では、各種設備の特性や利用状況を踏まえ、日常の設備運用や保守、利用者への情報提供等を行い、利用者と観客の双方にとってより安全で快適な施設となるような維持管理を行う。
- ・施設運営（ソフト面）では、充実した設備やスタッフの対応能力の高さ、実績等をアピールすることで過去に誘致した長期貸館の利用が継続したことから、レセプションや警備も含めた「ユーザーフレンドリー」な劇場として一層のサービス向上に努めるとともに、きめ細かな利用調整に努めて利用料金の増収を図る。
- ・2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を見据えた、外国人・障がい者等の来館者対応として、ホームページの改修、職員研修などを順次計画的にハードとソフトの両面から検討していく。

イ 芸術劇場の施設を活用する事業 収2

- ・公益目的の利用（演劇・舞踊公演等）が見込まれない場合は、学術会議あるいは講演会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。

ウ 駐車場の運営等 収1

4 神奈川県立音楽堂

(1) 文化芸術事業 公1

ア 芸術文化創造振興事業

- ・「優れた音響」「音楽ホールとしての伝統」「文化遺産的建築」という、音楽堂が持つ優れた資産を最大限に活用した事業を実施する。
- ・第2期指定管理期間より取り組んできた「子ども・青少年への音楽体験の提供」をさらに充実させ、次の世代に音楽の豊かさを伝える事業を行う。
- ・ヴィルトゥオーゾ・シリーズが開始10年目を迎える本年度は、声楽、室内楽、古楽の各ジャンルで計4公演を実施し、「この音楽堂で」聴く喜びを提供する。また、モンテヴェルディ生誕450年を記念し、同作曲家による「聖と俗」の代表作を取り上げる。

【主催事業一覧】

芸術文化創造振興事業 [9 事業]

*はヴィルトゥオーゾ・シリーズ

開催予定日	公演名（予定）	内容
5月13日(土)	ナタリー・シュトゥッツマン コントラルト・リサイタル *	世界的コントラルト歌手・シュトゥッツマンによるシューベルト歌曲集。本ツアーのために特別に用意されたピアノ五重奏が伴奏。
6月3日(土)	リナルド・アレッサンドリーニ指揮コンチェルト・イタリアーノモンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」 *	イタリア・バロックの雄モンテヴェルディの生誕450年を記念したシリーズ①。代表作「聖母マリア～」を、イタリア古楽を代表する著名合奏団が演奏。
6月9日(金)	小曾根真&ゲイリー・バートン	ジャズとクラシックの垣根を自在に行き来する日本を代表する国際的ピアニストによるリサイタル。ジャズ・ヴィヴラフォンの第一人者との共演。
7月2日(日)	ハーゲン・クアルテット *	アルバン・ベルク四重奏団の解散後、名実ともに世界最高峰の弦楽四重奏団と称されるハーゲン・クアルテットの演奏会。ハイドン、ベートーヴェン、シューベルトなど王道のプログラム。

8月29日(火)	アフタヌーン・コンサート 山田和樹／東京混声合唱団	シルバー世代に向けて平日午後開催するシリーズの2年目。人気指揮者のトークも交えて楽しいコンサートを提供。
9月29日(金)	アンサンブル・ウィーン＝ベルリン ＊	ウィーン・フィルとベルリン・フィルの首席木管奏者が一堂に会した夢のアンサンブル。第一級の奏者が揃うアンサンブルならではの品質なコンサート。
11月4日(土)	音楽堂・伝統音楽シリーズ 聲明「月の光言」	音楽堂の優れた音響特性を生かし、伝統音楽の魅力と可能性を紹介するシリーズ。本年度は日本の声の音楽の源流ともいえる「聲明」の古典と現代作品（新作委嘱：桑原ゆう）で構成して上演。出演は天台・真言両宗の僧侶たち「声明の会・千年の聲」。
11月25日(土)	鈴木優人指揮バッハ・コレギウム・ジャパン モンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」（演奏会形式）	イタリア・バロックの雄モンテヴェルディの生誕450年を記念したシリーズ②。日本を代表する古楽演奏団体バッハ・コレギウム・ジャパンの演奏で、モンテヴェルディのもうひとつの代表作を上演。
平成30年 1月20日(土)	芸術監督プロジェクト	（「3館合同プロジェクト」一覧から再掲）

※ヴィルトゥオーゾ・シリーズでは、コンサートをより楽しむための事前レクチャーを開催予定（日程・会場調整中）。

【共催事業一覧】

共催公演 [15 事業]

開催予定日	公演名（予定）	内容
4月22日(土)	第40回 全日本おかあさんコーラス 神奈川県大会	主催：神奈川県合唱連盟
4月29日(土・祝)	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 音楽堂シリーズ第10回	主催：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
4月30日(日) 5月14日(日)	第33回 かながわ音楽コンクール ユースピアノ部門本選 ／ヴァイオリン部門本選	主催：神奈川新聞社
5月3日(水・祝) ～5日(金・祝)	第27回コーラスワークショップ in 横浜	主催：全日本合唱連盟・神奈川県合唱連盟

5月20日(土)	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 音楽堂シリーズ第11回	主催：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団
6月10日(土)～ 11日(日)、24日 (土)～25日(日)	第60回 神奈川県合唱祭	主催：神奈川県合唱連盟
6月18日(日)	ダンスカカワフェスティバル(神奈川県芸術舞踊祭 No.106)	主催：神奈川県芸術舞踊協会
7月15日(土)	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 音楽堂シリーズ第12回	主催：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団
8月2日(水) ～5日(土) ※1日(火)貸館	第84回 NHK全国学校音楽コンクール 神奈川県コンクール	主催：NHK横浜放送局
8月19日(土) ～20日(日)	第60回 神奈川県合唱コンクール	主催：神奈川県合唱連盟
9月24日(日)	第27回 神奈川県オペラフェスティバル '17 第1夜	主催：神奈川県オペラフェスティバル実行委員会
10月3日(火) ～6日(金)	第57回 「音楽堂・おかあさんコーラス」	主催：音楽堂・おかあさんコーラス実行委員会
11月3日(金・祝)	第66回神奈川県文化賞・スポーツ 賞贈呈式	主催：神奈川県・神奈川県新聞社
11月16日(木) ～19日(日)	第32回ヨコハマコンペティション(神奈川県芸術舞踊祭 No.107)	主催：神奈川県芸術舞踊協会
11月26日(日)	第51回 神奈川県名流三曲祭	主催：神奈川県三曲会
平成30年 2月11日(日・祝)	第41回 神奈川県合唱フェスティバル	主催：神奈川県合唱連盟

イ 芸術文化鑑賞普及事業

- ・音楽堂のミッションとして掲げた「子どもたちへの音楽体験の提供」をテーマに、鑑賞普及事業に継続して取り組む。
- ・「三ツ橋敬子の新☆夏休みオーケストラ！」では、多様な関連企画とコンサートでオーケストラに親しむ機会を提供し、県民ホールと芸術劇場と連携した取組みの「オープンシアター」ではゼロ歳児から入場可とし、より幅広い世代に音楽堂の建築と音楽の響きに親しめる場を提供する。
- ・県民参加型の「メサイア」では、県内の高校生が合唱に参加する「未来プロジェクト」に新たに2校が加わり、合唱音楽の次世代への橋渡しを促進するほか、特別支援学校や小学校等へのアウトリーチ事業を引き続き行う。

芸術文化鑑賞普及事業 [5 事業]

★は3館合同プロジェクト（再掲）

開催予定日	企画名（予定）	内容
5月27日(土)	3館合同プロジェクト オープンシアター2017 in 音楽堂 ★	（「3館合同プロジェクト」一覧から再掲）
8月9日(水) ～12日(土)	三ツ橋敬子の新☆夏休みオーケストラ！ オーケストラ公演	子どもとその家族に向け音楽体験を届ける企画。4日間にわたり様々な関連企画とコンサートでオーケストラを丸ごと楽しむ。神奈川フィル及び近隣の大学・芸術団体等との協働で実施。
	ジュニアスタッフ養成	
	バックステージツアー ミニ・コンサート 公開リハーサル ワークショップ等	
12月10日(日)	第52回クリスマス音楽会 「メサイア」全曲演奏会	音楽堂の歴史とともに歩んできた県民参加型事業。高校生が参加するメサイア未来プロジェクトを継続し、次世代への継承にも配慮する。小泉ひろし指揮・神奈川フィルとプロ歌手たちが、県合唱連盟の合唱団等と共演。

日程調整中	子どものためのアウトリーチ事業 横浜市内小学校対象 「横浜プラットフォーム」	次代を担う子ども・青少年に上質な音楽体験を届けるために、教育委員会、地域 NPO や学校、音楽系大学などの協力を得て、プロの演奏家によるアウトリーチ事業を実施する。 本企画は、横浜市内の小学校で、プロの演奏家を講師とし、音楽を創る楽しさも体験してもらうことを目指す。
日程調整中	子どものためのアウトリーチ事業 県立養護学校対象 「ふれあいアウトリーチ」	県立養護学校向け鑑賞型アウトリーチ。ホールに来ることが困難な子ども・青少年へプロの演奏家の演奏を鑑賞する機会を提供する。
日程調整中	公開リハーサル	音楽堂で行われる共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ」等のリハーサルを小中高校生向けに公開し、若い世代にコンサートとは異なる音楽体験の場を提供する。

(2) 芸術文化施設の管理運営 公1 収2

ア 芸術文化に関する施設管理運営事業 公1

- ・開館 60 年を超えた音楽専用ホールながら、数々のプロフェッショナルやアマチュアの芸術活動が現在も盛んに行われているホールとして、次の世代へも良好な施設環境を引き継げるよう維持管理を行っていく。
- ・平成 30 年度に予定される県による改修工事に向け、利用者や来館者の声と現場の実情を熟知した指定管理者として県と密接に連携し、工事实施に向けた準備作業を行う。
- ・休館日が祝祭日に当たる場合の臨時開館、早朝利用等の弾力的な対応とともに、施設の清潔感や居心地の向上に可能な限り取り組み、行き届いたサービスの提供で更なる利用者満足度の向上を図る。

イ 音楽堂の施設を活用する事業 収2

- ・公益目的の利用（音楽公演等）が見込まれない場合は、講演会あるいは研修会などのための利用に提供し、その収益を公益目的事業の財源に充当する。

5 本部事業、その他事業

(1) 芸術文化に関する情報の収集提供 公1

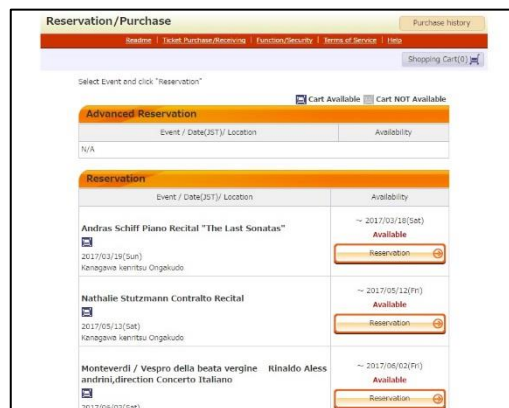
- ・平成28年度にリニューアルした情報誌「神奈川芸術 PRESS」を年6回(奇数月)発行し、芸術文化に関する情報を発信していく。県民ホール、芸術劇場、音楽堂等の情報や出演アーティストのインタビュー、地域の文化芸術情報などを掲載するほか、様々なコラム記事等を充実させ、幅広い県民が芸術文化に親しみを感じられるよう内容を充実していく。
- ・また、最新号からバックナンバーまでのWEB版「神奈川芸術 PRESS」を公開し、フェイスブック、ツイッター等のSNSと連動して、インターネット上でも広く情報を発信する。
- ・また、3館一体運営の施策として、主に夏休みに多く集まる子ども・青少年向け公演等の広告の共同出稿や記事配信を行い、効率的にプロモーションを強化する。



「神奈川芸術 PRESS」2017年4・5月号

(2) かながわメンバーズの運営 公1

- ・会費無料のインターネットを活用した会員制度「かながわメンバーズ(愛称 KAmE:カメ)」を運営し、メールマガジンの発行による公演案内やチケット発売情報の提供、先行予約の実施などのサービスを行う。
- ・24時間インターネットで購入できるチケット予約システムや、コンビニエンスストアでのチケット引取りなどのサービスを継続するほか、英語対応の予約ウェブサイトを供用開始するなど、利用者の一層の利便性の向上に努める。



英語版チケット購入ページ

(3) チケットかながわの運営及び団体販売等の促進 公1

- ・主催事業の票券管理やチケット販売、また共催・提携・貸館公演のチケット販売受託を行うため、チケットセンター「チケットかながわ」を運営する。近年大半のチケット購入者が利用するインターネット予約システムが安定稼働するよう整備維持するほか、特に高齢者へのチケット販売時は電話・窓口で丁寧に対人対応するなど、利用者の立場に寄り添ったサービスを提供し、満足度を向上させる。

- ・チケットの団体販売については、各種団体等への斡旋販売、福利厚生会員組織向けのインターネットを活用した販売を継続する。また、婚活系イベント会社とのタイアップ企画や、近隣の宿泊・飲食施設と連携した企画商品を開発するなど、新しい販路を開拓し、鑑賞者の拡大に積極的に取り組んでいく。

(4) 資金調達活動 公1

ア 文化庁等からの補助金・助成金の確保

文化事業、広報活動、人材育成等の充実を図るとともに、他劇場・音楽堂等との共同・連携の拡大に取り組むため、文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」補助金、一般財団法人地域創造の「公共ホール等活性化支援事業」助成金、芸術文化振興基金助成金及び民間の助成財団等からの助成金の確保に積極的に努める。

イ 賛助会員制度（寄付金）の運営

現会員に継続いただくとともに、新規の会員獲得のため、法人、個人への働きかけを積極的に行う。また、来館者、一般の方々の賛助会員制度への理解を深めるため、案内リーフレットの配布やウェブサイトの充実などの方策を実施する。



財団ホームページ「ご支援について」

ウ その他企業協賛金の獲得

賛助会員制度だけでなく、特定の公演や事業に対して支援をいただく個別協賛金や、広報媒体への広告出稿、公演に合わせた飲料等の現物提供など、幅広い支援をいただけるよう、法人、個人に働きかける。また、インターネットの活用や遺贈による寄付にも注目し、多様な資金獲得メニューの開発に取り組む。

(5) 管理組合の運営業務受託 図2

神奈川芸術劇場及び日本放送協会横浜放送会館合同施設の共用部の敷地・建物の清掃、保全、保守、修繕、植栽、塵芥処理及び消毒業務等の施設維持管理業務を受託する。また、合同施設アトリウム・レストラン・カフェの利用調整業務を行う。

(6) 法人本部の運営

ア 法人本部の運営 図入

理事会・評議員会等の運営、職員の資質向上のための研修の実施、事業評価の実施、その他公益法人の運営に関すること（総務、人事、会計、県との調整等）を行う。特に平成29年度から平成30年度にかけて施設の改修工事が予定されているため、県との調整業務を着実に進行。

イ 県委託事業の実施 図1

インバウンドを意識したコンテンツや民間施設等の発掘・積極的な活用を図り、神奈川県らしい魅力ある文化芸術の創出を促進することを目的に、マグカルの全県展開を推進する事業が開始されることから、財団としてこの事業を受託し、ラグビーワールドカップ及びオリンピック・パラリンピックに向けた県の文化政策に積極的に参画する。

○来館者数（入場者数）、利用率等の目標数値（平成 29 年度）

	来館者数（入場者数）	利用率
県民ホール	163,250 人	82%（大ホール ※）

※利用率は、県民ホールを代表するものとして、大ホールを対象とする。

	来館者数（入場者数）	利用率
芸術劇場	191,000 人	80.5%（ホール ※）

※利用率は、芸術劇場を代表するものとして、ホールを対象とする。

	来館者数（入場者数）	利用率
音楽堂	166,000 人	85%